

会 議 録

(2-1)

会 議 の 名 称		令和6年度第2回春日部市ごみ減量化・資源化等推進審議会			
開 催 日 時		令和6年11月15日（金）	開 会	午前・午後	2時00分
			閉 会	午前・午後	3時06分
開 催 場 所		春日部市役所 コミュニティ棟1階 ひだまりホール			
議長(会長等)氏名		伴 雅人			
出席者	委員氏名	(出席人数：9人) 中島邦彦、長森正尚、伴雅人、天海茂子、 山口武秀、奥山善太、井上功、北條一幸、小西和孝			
	説明者その他	(出席人数：2人) 廃棄物対策課 収集担当 主幹：金澤 正人 環境政策課 環境政策担当 主査：市山 義紀			
	事務局	(出席人数：13人) 環境経済部環境担当部長：前原 ゆい子 環境経済部環境担当次長兼環境政策課長：山崎 員弘 環境経済部参事兼廃棄物対策課長：野口 美明 環境政策課 ゼロカーボンシティ推進担当課長：川鍋 大輔 リサイクル衛生課長：小林 和彦 環境政策課 環境政策担当 主査：市山 義紀 環境政策担当 主事：渡辺 優唯 リサイクル衛生課 リサイクル衛生担当 主幹：平田 喜大 リサイクル衛生担当 主査：吉岡 章肇 廃棄物対策課 収集担当 主幹：金澤 正人 収集担当 主任：今井 健太郎 施設管理担当 主幹：佐藤 勉 施設管理担当 主幹：岡田 純爾			
次第及び公開・一部公開・非公開の区分		次第については、別添のとおり 会議については、公開			
一部公開・非公開の場合はその理由		☐ 要綱第3条第1号該当： ☐ 要綱第3条第2号該当： ☐ 要綱第3条第3号該当： ☐ 要綱第3条第4号該当：			
配 布 資 料		1 ごみ減量化・資源化等推進審議会次第 2 資料1-1 春日部市災害廃棄物処理計画の改定について 3 資料1-2 春日部市災害廃棄物処理計画（案）概要資料 4 参考資料1 春日部市災害廃棄物処理計画（案） 5 資料2 廃棄物収集効率化システム（収集しマース）の実証事			

	業について
会議録の作成方法	☐ 録音テープ等を使用した全文記録 ☐ 録音テープ等を使用した要点記録 ☒ 要点記録
会議録署名の指定	ごみ減量化・資源化等推進審議会 委員 天海 茂子 ごみ減量化・資源化等推進審議会 委員 山口 武秀

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	1 開会
会長	2 会長あいさつ
事務局	3 議題
	(1) 春日部市災害廃棄物処理計画の改定について
	【質疑】
委員	参考資料 13 ページに記載されている災害廃棄物の処理に関する 応援協定先が少ないのではないかと。もっと民間の協力を得るべきで は。
事務局	協定先として記載のある 1 つの団体には複数の企業が含まれてい る場合もある。また、春日部市地域防災計画では、廃棄物以外の分野 も含めて 74 の団体と協定を結んでいる。
委員	参考資料 15、16 ページの市民への啓発活動について、具体的に 何を予定しているのか。
事務局	現時点では、令和 7 年度ゴミニケーションカレンダーにて、「平常 時のごみ処理方法」と「災害時のごみ処理方法」について掲載する予 定である。
委員	災害時は市民、職員も混乱した状態で行動することとなる。そうい った心理面も想定して計画に反映できないか。
事務局	文章化するのは困難な部分ではあるが、今回の改定にあたって、他 自治体の実体験を聞いたり、職員の災害派遣を行うなどし、現場を知 る機会を設けてきた。そういった経験から職員の中に、被災者の行動 心理についても意識が芽生えたと考えている。このような取り組みは 非常に重要であるため、今後も続けていきたい。
委員	参考資料 50 ページに仮置き場の候補地が記載されているが、2 か 所では少ないのではないかと。
事務局	市内全域で災害が起こった場合、仮置き場は 2 か所で足りると考えて いる。多く設置しても管理しきれないなどの問題もある。ただし、市 内の限られた地域で災害が起こった場合はその地域の中に仮置き場

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
	を設置することが良いこともあるので、状況に合わせて対応していく予定である。
委員	災害が起きた際に、市の廃棄物処理能力を超えるごみが出た場合、他自治体等に応援を要請することも想定されるが、自治体によって分別方法が異なるため、そういった点も計画内に記載したほうが良い。
事務局	非常に重要なご指摘であり、改定の際にその点も含めて検討していく。
委員	参考資料４７ページの環境モニタリングについて、避難所での集団生活における健康面についてもモニタリングしたほうが良いのでは。
事務局	計画内の環境モニタリングは、仮置き場の設置を中心とした環境への影響を想定している。健康面については、地域防災計画などの上位計画にて定めていく。
委員	参考資料９ページの災害廃棄物処理対応の流れは、仮置き場の設置を前提として記載されているが、この流れを適用させる基準等はあるのか。
事務局	大規模な災害を想定してこの流れは作成しているが、災害の規模に応じて様々な対応を検討していく予定である。
委員	参考資料８ページ 図２.１「組織体制図」について、「災害廃棄物対策チーム」の枠中は黄色ではなく、白の方が見やすいのでは。
事務局	見やすい資料となるよう修正を検討していく。
委員	同じく「組織体制図」について、「災害廃棄物対策チーム」内に環境経済部の各課による班があり、さらにリサイクル衛生班の下には「災害廃棄物広報チーム」が設置されるなど、構成が分かりづらい。
事務局	運用時にわかりやすいよう表記しているところなのでご理解いただきたい。
委員	参考資料７ページについて、「思い出の品等」は風水害の場合のみ

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
	発生量の計上をしているのはなぜか。
事務局	風水害の場合は流されるため廃棄物として計上され、地震の場合は家屋に潰されその場に留まることが想定されるため、発生量として計上していない。
議長	その他にご質問等がある方は挙手をお願いいたします。
	【質問等なし】
事務局	4 報告事項 (1) 廃棄物収集効率化システム (収集しマース) の実証事業について 【質疑】
委員	実証事業を行うにあたり、数値目標はあるのか。
事務局	現在は数値目標を設定する前にシステムの構築や安定稼働を目指している段階であるため、今後設定を検討していく。
委員	1 集積所あたりの利用世帯数は把握できるのか。
事務局	現状では、集積所ごとの特記事項を入力できるようにはなっているが、今後、利用世帯数の把握についても検討していく。
議長	その他にご質問等がある方は挙手をお願いいたします。 【質問等なし】
議長	それでは、本日本日予定された議事についての審議が皆様のご協力のもと、無事終了しましたので、これにて議長の役を降ろさせていただきます。 ありがとうございました。
	5 閉会

議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和 6 年 12 月 16 日

署名 天海 茂子

署名 山口 武秀